

企画県土警察常任委員会資料

(平成21年9月16日)

【その他報告事項】

- | | |
|--------------------------------------|-----------------|
| 1 緊急雇用創出事業の追加実施について | 【文化政策課】・・・ 1ページ |
| 2 ロシア沿海地方における「鳥取週間」の結果概要について | 【交流推進課】・・・ 2ページ |
| 3 ガイナーレ鳥取に対するバードスタジアム国際交流基金による支援について | 【交流推進課】・・・ 4ページ |
| 4 鳥取県「江原道Week」の開催について | 【観光政策課】・・・ 6ページ |
| 5 「国際マンガサミット」の誘致について | 【観光政策課】・・・ 7ページ |
| 6 鳥取空港－鳥取砂丘間乗合ジャンボタクシーの運行について | 【観光政策課】・・・ 8ページ |

文 化 觀 光 局

緊急雇用創出事業の追加実施について

平成21年9月16日
文化政策課

事業名	予算額 (千円)	雇用創出人数		備考
		H21～H23	H21	
日本のまつり・2009 鳥取県内PR強化事業	398	1	1	この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

事業内容の説明

日本のまつり・2009鳥取の県内機運を盛り上げるため、非常勤職員を採用し、きめ細やかなPR活動を行う。(雇用期間 8/20～10/11)

1 業務内容

- 直前のプレイベントの実施補助(1ヶ月前イベント等)
- 梨花ホール入場整理券申込の対応及び管理業務
- その他補助業務

2 配置先 文化政策課日本のまつり推進室

ロシア沿海地方における「鳥取週間」の結果概要について

平成21年9月16日
交流推進課

9月6日（日）から開催されたロシア沿海地方における「鳥取週間」及び沿海地方、ウラジオストク市要人との会談の概要は下記のとおりでした。

記

1 ロシア沿海地方における「鳥取週間」概要

（1）「鳥取週間」開会式

ア 日 時 9月6日（日）午後1時～1時30分（現地時間）
イ 場 所 ロシア沿海地方ウラジオストク市
沿海地方国立アルセーニエフ博物館

ウ 内 容

- 約100名の列席者のもと、鳥取週間の開幕式を実施した。平井伸治鳥取県知事、山田淳在ウラジオストク日本国総領事、シェカ沿海地方行政府国際協力・観光局長、ズブリツキーウラジオストク副市長、ソコロフ沿海地方国立アルセーニエフ博物館長から挨拶。
- 鳥取県を紹介する写真32点、民工芸品52点の展示、二十世紀梨の展示及び試食会を行った他、鳥取県をPRする知事講演を実施。

（2）鳥取県物産展オープニングイベント

ア 日 時 9月6日（日）午後4時～4時30分（現地時間）
イ 場 所 ロシア沿海地方ウラジオストク市 ギーベルマルケット
ウ 内 容

- 知事による二十世紀梨のトップセールスの他、鳥取カレーの試食や、鳥取県产品（珈琲、電動自転車、自動車部品など）の展示、観光ブースを設けての鳥取県PRなどを実施。
- 二十世紀梨は2日間（9月5日、6日）で210個を販売。

（3）鳥取県立米子西高等学校箏曲部演奏会

ア 日 時 9月7日（月）午後2時～2時30分（現地時間）
イ 場 所 ロシア沿海地方 オケアン子どもセンター
ウ 内 容

- 米子西高等学校員16名による演奏会を実施した。ロシア全土からの推薦により同センターに派遣された青少年約500人が参加した。
- 演奏会では「ふるさと」「カチューシャ」をはじめ伝統的な琴楽曲などが披露された。

2 ロシア沿海地方要人との会談概要

（1）プシュカリヨフ ウラジオストク市長との会談

ア 日 時 9月6日（日）午前10時～10時30分（現地時間）
イ 場 所 ロシア沿海地方ウラジオストク市 ウラジオストク市庁舎
ウ 出席者 プシュカリヨフ市長、ズブリツキー副市長 他
エ 先方の主な発言

- 環日本海定期貨客船の就航に伴い、より具体的な経済交流の発展を希望する。同貨客船とシベリア鉄道を組み合わせれば、ヨーロッパへのビジネスチャンスも生まれる可能性がある。
- 当地においては、自動車組立工場が設置される予定であり、自動車部品及び建設機械の需要があることから、定期貨客船を利用して輸入ができればありがたいし、今後ともお互い協力していきたい。

(2) ゴルチャコフ ロシア沿海地方議会議長との会談

- ア 日 時 9月7日（月）午前9時～9時30分（現地時間）
- イ 場 所 沿海地方行政政府
- ウ 出席者 ゴルチャコフ議長 他
- エ 先方の主な発言
- 沿海地方からヨーロッパへの旅行は、値段が高くて遠いという問題がある。このため、鳥取県と京阪神を組み合せた旅行商品ができ、時間をかけて宣伝すれば、全ロシアからの観光客を集めることができ十分に可能なのではないか。そういう意味でも環日本海交流のチャンスではないか。
- 沿海地方議会としても、全面的に環日本海の経済・観光の発展につき支援していきたい。

(3) ダリキン ロシア沿海地方知事との会談

- ア 日 時 9月7日（月）午前12時～12時30分（現地時間）
- イ 場 所 ロシア沿海地方行政政府
- ウ 出席者 ダリキン知事、ポポフ副知事 他
- エ 先方の主な発言
- 環日本海定期貨客船の就航は、我々の交流のレベルを更に一段と引き上げるものとなった。平井知事の努力に感謝。沿海地方としても、モンゴルサミットにおける合意を踏まえて、物流のビジネスマッチングなど、約束通り積極的に協力したい。
- 定期貨客船就航は経済交流の第一歩であり、様々な実業家とともに、経済の活性化に力を入れたい。また、大規模な自動車工場が当地に設置される予定であり、自動車部品の物流促進について、今後協力してほしい。
- 観光については、沿海地方における複数の旅行会社を紹介する。沿海地方としても日本からの観光客誘致にしっかりと取り組みたい。

オ 合意事項

- モンゴルサミットにおける三地域間合意を踏ました「鳥取県・江原道・沿海地方海運航路活性化推進協議会」の設立、及び当協議会にて三地域が協力・推進していく内容（観光・物流・貿易に関する情報交換・共有・ビジネスマッチング、通関手続きの簡素化など）に関して、平井知事とダリキン知事との間で実質的に合意。
- ロシア沿海地方との友好関係を深化させるため、現在の友好協力関係（覚書）を姉妹提携（協定）に格上げする方向でお互い調整を進めることとなった。

3 その他

- ウラジオストク新聞、PTRテレビ、NHK ウラジオストク支局を平井知事が訪問し、鳥取週間事業及び環日本海定期貨客船のPRなどを行った。
- 在ウラジオストク日本国総領事公邸において、鳥取県の食材を利用したレセプションを開催。（沿海地方要人を70名程度招待）

ガイナーレ鳥取に対するバードスタジアム国際交流基金による支援について

平成21年9月16日

交流推進課

- (株)SC鳥取より(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会に対して必要資金の協力要請。
- 支援の原資となるバードスタジアム国際交流基金の取崩しについて、県は同意の方針。
- 今後、4者(県、鳥取市、(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会、(株)SC鳥取)で、資金面以外の昇格要件を満たした場合に、J2昇格要件を満たすための必要資金額7千万円を支援することを定めた協定書を締結予定。

ガイナーレ鳥取の運営会社である株式会社SC鳥取より財団法人鳥取市公園・スポーツ施設協会、鳥取県知事等に対して、J2昇格要件を満たすための必要資金確保の協力要請がありました。

これを受け、当財団から鳥取県知事に対してバードスタジアム国際交流基金の取崩しに係る協議がなされているところですが、その概要及び対応方針は下記のとおりです。

記

1. 要望日 平成21年8月24日
2. 要望者 株式会社SC鳥取 代表取締役社長 塚野真樹
3. 要望内容 資金面以外の昇格要件を満たした場合には、J2昇格要件を満たすための必要資金額7千万円の支援を要望

* 知事に対する要望の趣旨

当該協会からの支援はバードスタジアム国際交流基金の取崩しによるものであり、当該協会に対する補助の際の交付要綱により、処分(取崩し)の際には知事への協議・同意が必要とされている。

4. 同意する理由

◇ ガイナーレ鳥取への支援は、バードスタジアム国際交流基金の目的に合致

造成目的 バードスタジアムを活用し、サッカーを通じた子ども達の国際感覚の醸成と国内外への情報発信を行うことを目的に、平成7年に造成。

県民・市民が一体となって、生涯にわたりスポーツを楽しみ、スポーツ活動に対する関心を高め、サッカーの競技力の向上及び青少年の健全育成を図る。(基金管理規定より)

- ガイナーレ鳥取はバードスタジアムを本拠地（ホームグラウンド）として活動しており、J2昇格により、
 - ・ 県民のスポーツ活動に対する関心の高揚、バードスタジアムを活用した国内外のスポーツ交流の活性化が図られるとともに、本県におけるサッカー競技力の向上に寄与することが見込まれること
 - ・ ガイナーレ鳥取の知名度の向上により、国内外への県の情報発信に寄与することが期待できること
- ガイナーレ鳥取は青少年の健全育成に熱心に取り組んでおり、またチームには監督・選手など外国人が多数いることから、サッカーを通じた子どもたちの国際感覚の醸成に寄与するものと認められること

<参考>

1 主なJ2昇格条件

- ・ JFLで4位以内（現在3位・H21.9.16時点）
- ・ 平均観客数 3千人以上（現在 2,995人）
- ・ 債務超過（70,000千円）の解消

2 バードスタジアム国際交流基金の概要

- ・ 造成目的 バードスタジアムを活用し、サッカーを通じた子ども達の国際感覚の醸成と国内外への情報発信を行うことを目的に、平成7年に造成。

県民・市民が一体となって、生涯にわたりスポーツを楽しみ、スポーツ活動に対する関心を高め、サッカーの競技力の向上及び青少年の健全育成を図る。（基金管理規定より）

- ・ 造成額 400,000千円（内訳：鳥取県2億円、鳥取市2億円）
→ バードスタジアム国際交流基金造成事業費補助金
- ・ 基金残高 387,000千円（ワールドカップ2002のエクアドル代表チームの招致経費として、平成14年度に63,000千円の基金取崩しをしている。）

3 その他

- ・ 昨年度も同様の要望があり、基金の取崩しによる支援を行うこととしていたが、JFLで5位となりJ2昇格要件を満たさず、支援は行わなかった。

鳥取県「江原道 Week」の開催について

平成21年9月16日
観光政策課

本県と友好提携を結んでいる韓国江原道との交流促進及び山陰地域から米子ーソウル国際定期便、環日本海貨客船の利用促進を図るため、「韓国江原道 映画祭」及び「韓国江原道 観光説明会」を開催する。

1 日 時

平成21年9月27日（日）～9月28日（月）

2 実施主体

韓国江原道、鳥取県、韓国観光公社大阪支社

3 事業の主な内容

（1）韓国江原道 映画祭

公開された2005年の韓国最多観客動員数800万人を記録した大ヒット映画「トンマッコルへようこそ」の上映を行う。韓国江原道がメイショケ地であり、朝鮮戦争を舞台に、南北朝鮮軍兵士や国連軍のアメリカ人兵士が山奥の平和な村で友情を育んでいく。

日 時：9月27日（日）午後2時～午後5時10分

場 所：境港市民会館 ホール

入場料：無 料

その他：江原道観光DVD上映

韓国伝統舞踊団公演

お楽しみ抽選会（米子ーソウル間往復航空券、境港－東海間の往復航路チケットなどの豪華賞品が当たる）

（2）韓国江原道 観光説明会

韓国江原道の旅行商品の造成及び修学旅行での訪問について関係者への働きかけを行うため、江原道内における観光情報、修学旅行先等のプレゼンテーションを行う。

日 時：9月28日（月）午前11時分～午後1時

場 所：米子全日空ホテル「飛鳥の間」

対 象：旅行会社、修学旅行担当の学校関係者等

「国際マンガサミット」の誘致について

平成21年9月16日
観光政策課

1 背景及び目的

- 本県の国際的な認知向上や海外からの観光客誘致を図るため、「まんが王国とっとり」として、海外での「まんが博」出展など情報発信の取組を推進しているところ。
- 「まんが王国とっとり」の一層の国際的な認知向上を図るため、まんがをテーマとして国際会議を誘致する。

2 国際マンガサミットの概要

国際マンガサミットは、東アジア5地域（日本・韓国・中国・香港・台湾）のまんが家が集まり、「文化交流」「感動の共有」「著作権」をキーワードに、平成8年から展示会や研究会を実施している。

- 事務局：国際マンガサミット事務局（韓国富川市）
日本の窓口はNPO法人アジアMANGAサミット運営本部（代表：里中満智子）

○開催内容：

- ・漫画家による国際会議（約300名）、レセプション、原画展示、アトリエ再現等

《過去の開催地と今後の予定地》

第1回	1996年	日本	いわき市
第2回	1997年	韓国	ソウル市
第3回	1999年	台湾	新竹市
第4回	2000年	香港	
第5回	2002年	日本	横浜市
第6回	2004年	中国	北京市
第7回	2005年	韓国	富川市
第8回	2007年	香港	
第9回	2008年	日本	京都市

※ 総予算額9,500万円（うち地元負担4,000万円）

※ 参加者：漫画家、関係者約1,000人

第10回 2009年 台湾 (10/23~26)

第11回 2010年 韓国 (ほぼ確定)

第12回 2011年 中国 (ほぼ確定)

第13回 2012年 未定 (鳥取県開催を目指す)

3 今後のスケジュール等

9月	富川漫画祝祭への出展（韓国：9/23～28） 国際マンガサミット事務局訪問（韓国：漫画祝祭出展時）
10月	国際マンガサミット事務局関係者の県内招致 第10回国際マンガサミットでの誘致表明（台湾：10/23～26） …例年、サミットで次回以降の開催地が決定されている。

※国内でマンガサミット誘致に向けての取組を進めているところは鳥取県のみ

鳥取空港-鳥取砂丘間乗合ジャンボタクシーの運行について

平成21年9月16日
観光政策課

1 趣旨

鳥取砂丘を訪れる観光客の利便性を向上させることにより、本県の観光振興を図るため、鳥取空港と鳥取砂丘を直結する乗合ジャンボタクシーの試験運行を次のとおり行います。

2 運行内容

(1) 乗車人数

9人／台（10人以上の団体の場合はタクシー会社に事前連絡）

(2) 運行期間

平成21年9月18日（金）～平成22年1月3日（日）

(3) 運行日

土日祝日（12月23日から1月3日までは毎日）

(4) 運行時間

鳥取空港発 2便着の10分後出発 乗車場所：国際会館前

鳥取砂丘発 3便、4便発の1時間前 乗車場所：砂丘会館横、砂丘センター前

(5) 運賃

500円（子ども、身障者半額）

(6) 運行するタクシー会社

日本交通、大森タクシー、旭タクシー、鳥取自動車

3 県の支援

(1) 運行に対する支援

- ・ 1回の運行に当たり最低必要な売上額（3千円）と売上げ実績との差額について支援
- ・ 但し、1運行当たりの最低必要売上額の1／2（1500円）を上限

(2) その他

- ・ 広報経費について支援
- ・ 鳥取市や鳥取空港の利用を促進する懇話会等の関係機関と連携した広報等の取組を推進